



山陽スピリット ニュース No.18

2019(令和元)年11月29日

発行：学校法人 山陽学園 広報・山陽スピリット推進室

花水木会とともに

前山陽学園大学・山陽学園短期大学同窓会会長

岡本友美

あれは、小学3年生の頃だったのだろうか、自分の名前の由来を聞いて作文を書くような宿題が出されました。当時、私は自分の「友美」と言う名前がそんなに好きではありませんでした。母に名前の由来を聞いてみると、「友達を大切にすることになって欲しいから」。小学生ながら、「友達を大切にすること」が、人生において名前に付けるほど、そんなに大事な事なのかと疑問に思ったことを今でも覚えています。

私は幼少期、とても人見知りで、友達の後を付いていくだけの子供でした。そんな私が何故、同窓会会長を務めることになったのか。きっと、子供時代の友人は不思議に思うに違いありません。

私の人生を変えた言葉のひとつ。国際教養学科1期生として、入学した頃、英会話の授業でのポーラ・フランセス先生のお言葉。「なぜ、貴方たち日本人は自分の意見を言わないのか。自分の意見を言うことと喧嘩するのは違う。自分と違う意見を言う人がいても受け入れなければならない」私はそれまで、人と違う意見を言うと、仲間はずれになるのではないかなどと考え、発言することに消極的でした。この時以来、自分の意見を言える人間に変わったような気がします。

私が同窓会との関わりを持った切っ掛け。卒業して会社員を5年間勤めた後、起業し、少し時間に余裕が出てきたある日、会報「花水木」が目にとまりました。

たこと。当時の文化教室で行っていた英会話教室に参加しました。

しばらくして、当時の役員の方に、私の仕事であるファイナンシャルプランナーとして、「お金の講座」を開催してほしいとのお依頼を頂き、お受けしました。そして、その講座の数か月後、「同窓会のお手伝いしてもらえませんか」とのお電話をいただき、同窓会とはどんな組織なのか、何をすることも全く分からないまま、ひとまず役員会議に出席しました。

この初めて出席した会議の中で、私の身に付いた「自分の意見を言うこと」が会長に推薦された切っ掛けとなった訳です。

さて、同窓会についてお話ししましょう。

山陽学園大学・山陽学園短期大学の同窓会には「花水木会」という愛称があります。花水木はキャンパスの池の周りに植えられている花です。これは、開学当初、村岡知子先生の呼びかけで植樹されたそうです。そこから、同窓会の会報の名前も「花水木」となったようです。

大学・短大それぞれの一期生が卒業すると共に、それぞれの同窓会が組織されていましたが、大学の同窓会は役員がまだまだ若く、活動するには組織が未成熟であり、一方、短大の同窓会役員は、年配者が多く実行力不足という悩みがありました。

そんな2つの組織の問題点を解決するためにも、それぞれの同窓会が合併してはどうか、という声が上がりました。

一方で、2つの組織が合併するという事は、難しいのではないかとのお声もいただきましたが、同窓生、皆が「愛と奉仕」の精神を持った人達ばかり



り、お互い譲り合い、尊重し、何の問題もなく、新しい同窓会「花水木会」として生まれ変わったのです。

合併してからは大学祭に参加するための「OG・OBプロジェクト」を若手メンバーが立ち上げ、模擬店で販売するための美味しいお団子を考案。今では、花水木会名物のお団子となりました。

その他にも、同窓生が集える場を作ろう、学生さんへの支援をしよう、などと毎年毎年様々な企画を皆で考えております。

私はこの素晴らしい同窓会を永久のものにしたいと思っております。

その為には、新しい若いメンバーの参加が不可欠です。

学校を卒業すると、仕事に就き、家庭を持ち、自分の目の前のことでいっぱいになることでしょう。でも、少し一息つく時ができた時には、是非、母校を思い出し、自分の時間を少し同窓会へ差し向けてはいかがでしょうか。

私は同窓会活動を始めてみて、多くのことを得ることができました。母校への愛、皆で協力する素晴らし

さ、達成感、そして、素晴らしい「友」。母が名づけてくれた「友達を大切にする子」という名前は「友達に恵まれて幸せになる子」だったのでしょう。今はこの名前に感謝です。

最後になりましたが、本年7月7日、同窓会総会をもって、16年間務めた同窓会会長を退任致しました。

これまで、同窓会のためにご協力、ご支援いただいた学園関係者の方々、また、未熟な私を支えてくれた同窓会員の皆様にも、心より感謝申し上げます。

山陽学園大学・山陽学園短期大学、そして花水木会が永久であることを願って…。

2019学生が選んだ「日々のおしえ」ベスト10

- 1位 さわやかな挨拶 あかるい一日 (4日)
- 2位 広い大空のように ゆたかな心を (31日)
- 3位 あたえられた仕事は 50センチ向こうまで (15日)
- 4位 物の命を大切に (26日)
- 5位 人のために尽くす事こそ 私達のよろこびである (5日)
- 6位 美しい日は美しい月を 美しい月は美しい年を
美しい年は美しい生涯を (1日)
- 7位 美しい行いは 美しい心から (18日)
- 8位 あなたの最善今すぐに (17日)
- 9位 事ごとに感謝し 祈りましょう (8日)
- 10位 辛抱第一何くそで (12日)

日めくり「日々のおしえ」は、社会に出て役立つ人間になるようにとの教えを分かりやすい言葉にまとめた、上代淑先生の遺訓です。

大学・短期大学の1年生全員が履修する「知的生き方概論」の授業でアンケートを取り、「日々のおしえ」31の中から好きな言葉を選んでもらいました。

このアンケートは2016年から実施していますが、4年連続してベスト3に入った言葉は、「さわやかな挨拶 あかるい一日」です。

【広報・山陽スピリット推進室より】